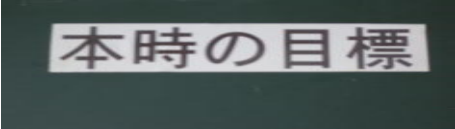


◆ 授業改善と本時の目標

校内を歩くと、各教室、選択教室の黒板には「本時の目標」と書かれたマグネットが張られています。



本時の目標

これは、昨年本校の校内研修の一環として、「学習目標を明確にした授業の実践」を具現化するために取り入れたもので、先生方は授業開始後15分以内に本時の目標を板書することになっています。毎時間の授業を通して、生徒に本時の目標を明確に知らせることは、授業への意識付けを図ると同時に、教師自身にも意欲と追求心をもって授業に向かうための動機付けとなります。質の高い授業をし、生徒の精神を生き生きと緊張させ、意欲的に学習できるようにする。教師はそういう使命と責任を持っています。「今日はこれだけはどうしても学ばせるのだ」という意気込みで教室



へ入って行く先生を待つ生徒は、先生が教室へ入ってこられた時から授業に集中しています。

今年の校内研修の主題は「コミュニケーション能力を高めるための授業実践を目指して」です。7月の学校支援課訪問に向け、今、全職員で準備を進めています。

このように学校としては、校内研修に取り組むとともに年間を通して公開授業（研究授業）、教科別授業研究会、中学校との授業交流等を行い、また一方で、先生方が個別に他教科の授業見学等を行うなど、教師の指導力アップを図っています。

◆ 银杏祭のテーマ決まる

今年の银杏祭のテーマが決まりました。6月9日（木）の全校集会で、银杏祭のテーマが発表され、「It's ^{しょう}松 TIME ~松 me your soul~」に決定しました。

学校教育において、生徒を主役にし、生徒たちの活動によって高める場面というのは”授業”と”学校行事”です。



特に学校行事では「素晴らしい行事にしよう」等という具体的な目標の下に、全校生徒や職員、あるいはPTAの方々の協力により、その目的にふさわしい創造的な行事を創り出すことができます。

银杏祭の目的は、「生徒の自主的な活動を通じて、クラスや学校に対する所属意識を高め、望ましい集団作りをめざす」と、「自己と学校生活や社会とのかかわりを見つめ、より高い本巣松陽高校の文化創造をめざす」の2つです。仲間とともに一つの目標に向かって取り組む中で、それぞれが変革をして行く様を見ることができるのも、こういう機会を通してできることです。

9月1日（木）・2日（金）の银杏祭開催に向け、各クラス、文化系部活動はそれぞれ準備にとりかかり始めました。充実した银杏祭になることを楽しみにしています。



